

平成 29 年度 すこやかメールマガジン 第 541 号【辞書をひく】4 月 27 日配信

みなさんこんにちは(*^~*)

第 539 号【なぜ勉強するの?】に対して、読者の方から「まど・みちおさんは知っていましたが、『朝がくると』という詩は知りませんでした。これなら納得できますね(^)紹介していただきありがとうございました。改めて、少々成長した娘達にこの詩の話をしたしたいと思います」という声をお寄せいただきました。とても嬉しく思いました。本当にありがとうございました。

さて、皆さんに問題です。

「なぜ『辞書』は『ひく』なのでしょう？」

これは、先日の全国学力テストの中学校国語にあった問題文です。

私は、ドキッとしました。確かに「辞書をひく」と言います。しかし、「ひく」という言葉を使っているのがなぜなのか、私にはわからなかったからです。皆さんは、いかがですか？

答えを要約するところですよ。

辞書は字引(じびき)ともいう。字引とは、それでよいかどうか選び出すもの。つまり「くじをひく」などと同じであり、ことばを選び出すのが辞書である。

辞書のいわれを知り、私は納得しつつも鳥肌が立つような思いでした。なんだか急に、辞書が愛おしく思ってしまったほどです。

ところで、お子さんは、いずれ国語辞典と出会うことになりますね。もしかしたら、既に出会っているお子さんもいらっしゃるでしょう。(ちなみに、「国語辞典の使い方」は、小学校 3 年生の国語の教科書に掲載されています)

今は、スマホやタブレットなどで、すぐに言葉の意味を調べることは可能です。しかし、ずしっと重みのある辞書から、自分でページをめくってめくって一つの言葉を見つけ出すことの喜びは大きいことでしょう。「あった!」と見つけたときのあの喜び…。確かに、くじびきで当たったかのような感覚かもしれません(*_~*)

言葉に興味を持ち始めてきたお子さんと、「辞書は、『ひく』というんだよ。どうして『ひく』って言うのか不思議だと思わない?実はね…」などと、会話しながら、辞書との出会いを演出できたら最高に素敵ですね。

ちなみに、見つけた言葉に付箋を貼ったり、印をつけたりしていくと、自分の辞書に愛着

がわき、辞書をひく楽しみがぐっと広がるようです。また、「これどういう意味？」とお子さんに聞かれたときは、「そんなの自分で調べなさい！」とお子さんを突き離さずに、「う～ん。お母さんもその意味わからないなあ。辞典で調べてみようか！」と一緒に調べてみることもオススメです。お子さんと楽しみながら「当たり」を見つけてみてください。【A】

※来週はGWのため、5月2日火曜日の午後に配信させていただきます。

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」(次回から直接、メルマガを受信することができます)

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝え願います。

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索